

松戸プロジェクト市民パートナー 活動報告



市民パートナー委嘱から2019年活動

市民パートナー発表者代表 菊谷則行

成り立ちと活動目的

【成り立ち】

- ・2017年2月 松戸市と千葉大学予防医学センターが共同研究として開始した「都市型介護予防モデル松戸プロジェクト」の市民応援団の説明会及びワークショップに集まった市民有志300名が背景。

【活動目的】

- ・「松戸プロジェクト」の目的に協力し、間接的な「通いの場」運営の支援方法を検討する目的で、3回のワークショップ後平成29年10月千葉大学予防医学センターより6名の市民ボランティアが委嘱され第1期「パートナー」としてスタート。

【第1期委嘱から平成31年3月迄】



第1期パートナー6名

《第1期:平成30年3月迄》

- ・ 市民活動登録団体、市民ボランティア活動団体等既存登録団体情報一元化で動き始める
- ・ しかし、縦割り管理の壁、個人情報開示の壁など課題が山積する事が判り、中断。

《第2期:平成31年3月迄》

- ・ 第2期、4名のパートナーが加わり合計10名に。
- ・ 平成30年9月22(土)千葉西総合病院アネックス館講堂第1回「通いの場交流会」を実施
 - ・・・「通いの場」運営の実態把握と相互の情報交換
 - ・・・参加41団体 関係者含め合計 96人
- ・ ワークショップ成果物と参加者アンケートから様々な課題が見えて来た。



《第1回「通いの場」交流会アンケートから》

様々な分野の団体に共通する課題をみんなで検討する場があれば・

○参加者を増したいが

・方法が分からない・認知されていない・参加者が固定化し増えない

○協力者が不足している

・呼び掛け方法を知らない・チラシ作る人が居ない

○今後の運営が不安

・資金不足・市支援終了後(3年後)の運営資金

・講師人材の発掘・高齢者の持てる特技を活かす

○場所の確保が大変

・学校の協力にも壁がある・市全体で考えるべき



ワークショップ

交流会で得たこと「地域毎の細やかな対応」「通いの場」充足率など参考に

【地域別「通いの場」設立状況】							
生活圏域区分	平成30年（2018年9月）			令和元年（2019年上半期）			
	必用数	元気応援クラブ	充足率	元気応援クラブ	増減	充足率	
明第一地区	54, 5	6	11, 0	6		11, 0	
明第二西地区	29, 8	2	6, 7	2		6, 7	
明第二東地区	26, 4	1	3, 8	1		3, 8	
本町地区	43, 4	2	4, 6	4	*2	9, 2	
矢切地区							
東部地区	46, 9	2	4, 3	2		4, 3	
常盤平地区	52, 3	6	11, 5	9	*3	17, 2	
常盤平団地地区							
五香松飛台地区	34, 8	4	11, 5	6	*2	17, 2	
六実六高台地区	24, 0	3	12, 5	4	*1	16, 5	
小金地区	43, 3	2	4, 5	2		4, 5	
小金原地区	27, 6	1	3, 6	1		3, 6	
新松戸地区	37, 3	8	21, 4	9	*1	24, 1	
馬橋西地区	22, 2	1	4, 5	2	*1	9, 0	
馬橋地区	38, 3	2	5, 2	4	*2	10, 4	
	488, 2	40	8, 1	52	*12	10, 6	
		▲448		▲436			

- ・地域間の差に《通いの場》立ち上げ・運営のヒントが隠れているのでは・・・
- ・500超あるとされる介護予防に資する団体が《通いの場》へ昇華出来ないか・・・

《第3期:平成31年4月～令和2年3月迄》

【新規立ち上げ支援】 “地域包括支援センターとの連携”

・「通いの場」設立呼掛け 大小4回の「交流会」開催

①地域交流会:展開余地のある 3地域(矢切・馬橋西・東部各地区)

②拡大交流会:12月16日 松戸市商工会議所5階大会議室

【活動継続化支援】 “専門職種(医療・介護など)・企業・各種団体との連携”

・運営コンテンツの発掘とその活用への道筋

①コープみらい ②医療機関(東葛クリニックみらい、千葉作業療法士G)

③民間任意団体

【活動の見える化】 “情報発信体制を充実”

・定期情報誌「News Letter」発行5回

・「松戸プロジェクト」ホームページ自主管理化(2019年9月)

<https://www.matsudo-project.com/>

しかし、その前に先立つものが必要・・・

財源確保の為、団体組織しなければ・・・そこで・・・パートナーで
平成31年1月任意団体「松戸市の地域活動を推進する会」を組織



【助成金に応募】

①杉浦記念財団地域医療振興助成「活動分野」

- ・千葉大学予防医学センターの全面的協力を頂き「都市型介護予防モデル開発に向けた地域連携体制の構築」をテーマに応募
- ・144件中13団体の一つとして採択された。



7月授与式が開催された

②コープ共済地域ささえあい助成

- ・住民主体の「通いの場」を活性化し、高齢者等の地域活動を応援します！
テーマに応募、採択。
- ・コープみらいと連携し、コープの持つプログラムを「通いの場」で活用

【令和2年3月迄のおもな活動】

① 地域交流会3ヶ所で開催 (地域包括支援センターの協力)

- ・展開余地のある矢切地区、明第二西/馬橋地区、東部地区で開催

《矢切交流会》

(9/30開催)

総合福社会館

一般参加17名

登録団体が増加

《馬橋西交流会》

(11/23開催)

古ヶ崎市民センター

一般参加11名

活動の情報交換

② 第2回「通いの場」交流会

- ・(12/16)松戸市商工会議所5階大会議室
- ・登録団体19、未登録団体10、72名の参加
- ・運営の膠着化対策に関心が高く、企業団体のコンテンツ紹介コーナーは多くの参加者が立ち寄った。



③ コープみらいプログラム「食育」「防災」「環境」プログラムと連携

(5/23)コーププラザ東葛にて
体験会を開催 参加72名
・以後、通いの場や未登録団体
等11ヶ所でミニ体験会を開催

(7/14)通いの場
「サンシルバー元気
会」防災スリッパづ
くり



(11/2)六実小学校
避難所訓練ポリ袋
クッキング体験会

(「食育ゲーム」と「防災食 体験会」ポリ袋
クッキングは大変好評)

④ 医療機関・企業・各種団体と連携

<体験会開催>「生活充実講座」

協力:千葉県作業療法士グループ
生活日記を記入、定期的にグループで集
まり自分の生活を分析、明日の目標づく
りと脳の活性化
・明第2西地区で11月から4回体験会

<実施に向け整備>

「メディカルウォーキング」
・東葛クリニックみらい:秋山和宏医師考案
・開催に向け、意向アンケート
「中古レコードで音楽療法」
・任意団体クロダマハウス:代表黒田さん

⑤活動の見える化 「情報発信体制の拡充」

- 定期情報発信誌「NewsLetter」発行5回

「通いの場」「公共施設」で配布

- 松戸プロジェクトホームページ「自主管理」に移行
～2019年9月より

<https://www.matsudo-project.com/>

※情報掲載依頼は随時受付中

gxddc522@ybb.ne.jp 菊谷 noliet4ss@yahoo.co.jp 竹内

【今後の活動】

- コロナ感染予防対策で「通いの場」運営は非常に厳しい状況にあり
- 集まらないでも繋がる運営方法が急務

高齢経験者の知見とアイデアで「都市型介護予防モデル」づくり

- 多職種連携と財源確保でボランティア組織でも「通いの場」支援が
充実してできる環境づくり

- 「通いの場」交流会の“提案”や“意見”は常に行動目標に

